

No.89 安全マップを活用し、主体的に安全を守る行動がとれる生徒の育成を図る取組

- 管 内 日高管内
- 分 類 通学路の点検 交通安全教室 安全教育 その他 ()
- 教育課程 教科 (科) 道徳 総合的な学習の時間 特別活動
- 校 種 小学校 (低) 小学校 (中) 小学校 (高) 中学校 高等学校
- 取組のポイント

- 学校安全指導計画に基づく、意図的、計画的な安全教育の推進
- 地域における安全に関する諸問題を内容とした、必要感を高める学習活動
- ワークショップによる安全マップの作成を通じた、自主的、実践的な態度の育成

取組の実際

ねらい

- 生徒自身が校区内の危険箇所を「安全マップ」としてまとめる活動を通して、主体的に安全を守る行動がとれる生徒の育成を図る。

内 容

1 生徒の視点による「安全マップ」の作成

- ワークショップによる通学路の安全確認
 - ・津波を想定した避難訓練において、校舎から避難場所である高台までの危険箇所の点検を生徒が実際に行い、訓練後に、避難する際、注意すべき点や登下校中に気になっていることを地図に書き込むワークショップを行い、生徒同士が話し合いながら「安全マップ」を作成した。
- 各教科等の学習内容を生かした安全教育の推進
 - ・保健体育科の「傷害の防止」での学習を生かして、通学路の危険箇所や危険回避方法について生徒同士が交流するなど、各教科等の学習内容を活用した安全教育を推進した。



【地図上で危険箇所を交流する様子】

<ワークショップのポイント>

- ・避難経路、通学路における危険箇所の確認
 - ・自宅にいた場合の避難場所の確認
 - ・周辺の医療施設や食料品店の確認
- ※地図上にそれぞれの箇所をマークし、実際に災害等が起こった際の行動をシミュレーションする。



【ワークショップで作成した安全マップ】

2 「安全マップ」を活用した安全意識の向上

- 校内掲示による安全意識の向上
 - ・生徒自身が危険箇所についての意識を持続できるように、「安全マップ」を校内の見やすい場所に掲示するとともに、学期ごとの見直しを通じて継続的な指導を行い、安全意識の向上を図った。
- 保護者・地域への啓発
 - ・取組を学校のWebページに掲載することにより、保護者・地域の安全意識の向上につながる情報源とした。



【安全マップの校内掲示】

成果と課題

- 「安全マップ」の作成及び活用を通して、日常的に生徒同士が通学路の危険箇所や危険回避の具体的な方法について交流する様子が見られるなど、安全への意識が向上し、主体的に考え、実践的に取り組む生徒の育成につながった。
- 道徳教育や各教科等、学校行事、生徒会活動等と関連付けて、生命や安全に関わる活動の充実を図り、災害等に対する安全意識を更に向上させる必要がある。